

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		中心市街地活性化事業						予算事業名		中心市街地活性化事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	中心市街地の活性化に関する法律								
				07	01	03	20	経常経費	根拠法令								
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 活力と創造力を育む商工業の振興 中心市街地の活性化						事業の区分		主要事業							
										重点事業							
				担当課係等		商工観光課											
												商工振興係					
事業期間		継続 (平成16年度～ 年度)															
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
地域住民が中心となり、中心市街地を活性化させ、買い物客や観光客の回遊性を高め、賑わいを取り戻す。 結城市内で起業する方が増え、補助金の活用により空き店舗が解消され、新しい人の流れにより中心市街地が活性化する。								①経営者の高齢化及び後継者不足により、空き店舗が目立つ状況になったことから、平成16年より(株)TMO結城を設立した。 ②北部市街地の活性化及び商店街の振興を目的として事業を開始した。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
①中心市街地活性化基本計画の実現のため、中心市街地における商業活性化を目指して活動する(株)TMO結城に対して補助を行う。 ②創業希望者に対して、創業支援セミナー(経営・財務・人材育成・販路開拓)を実施し、規定の回数を受講した者に、証明書を交付する。 ③中心市街地区域内で創業等を希望する者に対して、空き店舗等の活用補助金を交付する。								①(株)TMO結城 ②市民・創業希望者 ③空き店舗を活用する団体等及び個人									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								①(株)TMO結城が実施するソフト事業(ひなまつり・結いのおと)は市民・観光客に定着しつつある。 ②北部市街地の商店街は、経営者の高齢化と後継者不足などによる空洞化がすすみ、シャッターが閉まったままの建物が多く商店街に活気がない。 ③空き店舗等を活用した、創業に関する問い合わせが増えている。									
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】									
①中心市街地区域内において、(株)TMO結城が行う事業に対して補助を行う。 ②創業希望者に対し、創業セミナーを開催する。 ③中心市街地区域内において、創業等を希望する者に対して、空き店舗等の活用補助金を交付する。				①中心市街地区域内において、(株)TMO結城が行う事業に対して補助を行う。 ②創業希望者に対し、創業セミナーを開催する。 ③中心市街地区域内において、創業等を希望する者に対して、空き店舗等の活用補助金を交付する。				①中心市街地区域内において、(株)TMO結城が行う事業に対して補助を行う。 ②創業希望者に対し、創業セミナーを開催する。 ③中心市街地区域内において、創業等を希望する者に対して、空き店舗等の活用補助金を交付する。									
■事業費																	
				R03年度		R04年度											
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	0	0										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	4,862	7,163										
歳入計(千円)				4,862		7,163											
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)											
	08	旅費		0		9											
	10	需用費		8		20											
	12	委託料		1,000		1,418											
	13	使用料及び賃借料		600		600											
	14	工事請負費		0		366											
	18	負担金補助及び交付金		3,254		4,750											
歳出計(千円)(A)				4,862		7,163											
伸び率(%)						47.32											
備考																	

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	開設休憩所接待実施日数	日	目標	7.00	7.00	7.00
	イベント時において休憩所を開設し、接待を行う。 ※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止		実績	2.00	0.00	0.00
	創業支援セミナー受講者数	人	目標	80.00	85.00	85.00
	結城商工会議所で実施する起業・創業セミナーの受講者数		実績	30.00	0.00	0.00
成果 指標	(株)TMO結城主催イベント来場者数	人	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	イベントを開催し、観光客を誘客する。 ※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から人数を限定		実績	2,700.00	0.00	0.00
	空き店舗を活用した起業・創業者数		目標	2.00	2.00	2.00
	セミナー受講者のうち、空き店舗を活用した起業・創業者数		実績	1.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	観光資源として重要な歴史的街並みを有する中心市街地を活性化する必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	創業支援セミナーについては、専門性がある商工会議所に委託しているため妥当であるといえるが、空き店舗活用補助金及びTMO結城補助金は必ずしも行政が負担するものではないと思われる。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	行政によるテコ入れが必要な部分もあり、おおむね妥当であるが、空き店舗活用など事業内容によっては、民間主体での対応が可能な事業もある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	社会情勢の影響もあり、事業の成果が上がりにくい状況であるため、費用対効果についてはどちらとも言えない。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	事業対象が中心市街地であるため偏りはあるが、市の観光資源としての活性化とすれば公平性はある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	空き店舗活用者などの新規創業者に対する継続的な支援や(株)TMO結城の事業拡充見直しなど、成果向上の余地はある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	新規創業やイベントでの集客等、毎年少しずつではあるが実績はある一方、高齢化による廃業など空き店舗が増加するなど、どちらとも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業評価を踏まえると一定レベルの評価はできる。 しかし、事業対象地の中心市街地商店街は、経営者の高齢化や後継者の不在、貸出可能な空き店舗が少ないなどの問題があり、(株)TMO結城は中長期的な活動計画がないなどの課題がある。また、本事業の指針である中心市街地商業等活性化基本計画は平成11年に策定されてから、二十数年経過しており、現況と合わない部分が生じている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
平成28年に設立した創業支援ネットワーク協議会により、関係機関との情報共有化、創業支援セミナーや相談体制の充実を図るとともに、中心市街地商業等活性化計画の見直し等により、事業区域や方針を再設定、(株)TMO結城の取り扱いについて検討し、より効率性や有効性の高い事業としていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 中心市街地活性化を目的に新規事業者の創業を支援してきたが、出店後は当初見込んだ収益がでず、困難な経営を余儀なくされている事業者も多い。また、事業承継が順調に進まず、今後廃業する店舗等が増加し新規出店が閉店する店舗数に追いつかない状況となることが懸念され、抜本的な対策が急務といえる。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	